

集落活動センター美良布（香美市）

拠点施設
情報

美良布地区集落活動センター
(香美市香北町美良布1211)
0887-52-9708



開設時期

H29.3.30

運営主体

美良布地区集落活動センター推進協議会

構成集落

上町、住宅、泉町、本町、新田、本田

人口・世帯数

1,103人・539世帯（R7.3.1時点）

地域の自慢

香北町美良布地区は旧香北町（平成18年3月合併）の中心地であり、「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」「道の駅」「健康センターセレネ」などの観光施設もあることから、香北町内でも人の交流が多い地域です。産業は豊かな自然を生かした農業が主体となっており、歴史のある「叢生米」のブランド化や、地元特産品を使った加工品づくりに取り組むなどの動きが見られるようになっていきます。

○ 地域のこれから

地域資源である「やなせたかし記念館」など周辺施設との相乗効果による地域外との交流を進めながら、「玄米かるかん」「和のハーブシロップ」「野草茶」など地元の素材を生かした商品の開発や「びらふマルシェ」「制服リユース」など地域のニーズに応える取り組みを展開し「地域が刺激を受ける」ことによる地域の活性化を目指します。

○ 主な活動内容

<にろうまいご部会>

○「玄米かるかん」の製造・販売

原材料は地元特産品の“叢生米”の玄米粉と地元産にこだわり、柚子・桜の塩漬け・苺を添えた様々な商品を展開しています。特産品販売会や各種イベントへも積極的に参加しています。



○スイートポテト・朴ノ木餅の開発・製造・販売

○6次産業化についての授業

毎年、地元小学校の6次産業について、「玄米かるかん」を紹介して授業をしています。



<おしゃべり倶楽部部会>

○野草摘み、野草の製造・販売

身近にある野草を活かし、収穫・乾燥・焙煎から製品化まで、すべて手作業で仕上げた、ブレンドティー「わたしの野草茶」を開発。常に新ブレンドの開発を行い、商品ラインナップの充実を心掛けています。



○ブレンドティー作り体験の実施

依頼のあった大学や会社、施設や団体へのワークショップの開催や活動の紹介をしています。



<むすぶ部会>

○「和のハーブシロップ」の開発、販売

青しそと柚子のシロップや、そのシロップを活用した「和のハーブスカッシュ」「むすぶようかん」を開発、販売しています。



○びらふマルシェ

交流スペースやアンパンマンミュージアム前の広場を活用してマルシェを開催。毎回たくさんのお店が並びます。



○制服リユースプロジェクト

地元中学校や県内高校の制服を回収・修繕し格安で販売します。

○ 活動への思い

地域の活性化を目指して、明るく元気な地域になる取り組み・活動をサポート、実現し、情報発信や地域内外との交流を積極的に行っていきます。

【会長】門脇 邦泰

